

大谷地病院理念

信頼・真心

《安全と信頼》

私たちは常に医学的知識と技術の向上に努め、地域に信頼され、必要とされる安全な医療機関をめざします。

《真心と誠意》

私たちは一人ひとりの皆さまとの出会いを大切にし、真心と誠意をもって、皆さまの健康な心身づくりに努めます。

大谷地病院基本方針

1. 私たちは地域に信頼され、必要とされる医療機関をめざします。
2. 私たちは患者様との出会いを大切にし、患者様の心身を真心を持って癒します。
3. 私たちは専門職として、それぞれの分野で知識・技術を磨き、チーム医療の質の向上に努めます。
4. 私たちは患者様の自由・権利・人間性を尊重します。
5. 私たちは患者様が社会人として地域の中で生活を送れるように支援します。

ご案内

- 自家用車、タクシーをご利用の方は、南郷通からお越しいただくと便利です。
- 地下鉄ご利用の方は、東西線大谷地駅で下車して5番出口より徒歩 約10分です。
- 北広島、南幌、長沼方面からはJRバスで大谷地バスターミナルまでおいでください。
- 診療科目：精神科、心療内科、内科

当院は予約制となっております。
初診の方も事前にご予約の上ご来院ください。
診療受付時間（平日） 9:00～11:30
13:00～16:30
（土曜） 9:00～11:30
＊ 日曜・祝日はお休みです。

〒004-0041
札幌市厚別区大谷地東5丁目 7-10
TEL：011-891-3737
FAX：011-891-3868
＊ 診療予約専用 TEL：0120-489-892
<http://www.ohyachi-hp.or.jp/>



大谷地ふれあい通信



編集／大谷地病院広報委員会
発行／重仁会 大谷地病院

2026年9月 第87号

訪問看護ステーションシエル 開設のご挨拶

このたび、医療法人重仁会の新たな在宅支援の拠点として、令和8年9月1日、札幌市西区宮の沢に「訪問看護ステーション シエル」を開設する運びとなりました。

「シエル (Ciel)」はフランス語で「空」を意味します。空は晴れの日も雨の日も変わることなく私たちを包み込みます。私たちもその空のように、ご利用者様やご家族に寄り添い、安心と希望を届けられる存在でありたいという願いを込め、この名前を付けました。

私たちは、「暮らしを支えること」、そして時には「新たな暮らしとともに築くこと」を使命としています。病気や認知症、こころの不調、お子さまの発達への不安など、暮らしが大きく変化する場面において、ご本人やご家族とともに歩み、その方らしい生活を支えてまいります。

当ステーションでは、精神科看護、認知症看護、お子さまの発達支援をはじめ、口腔ケアに関する支援や精神保健福祉士による生活支援など、多職種の専門性を生かした訪問サービスを提供します。また、医療・介護・福祉・地域の関係機関と連携し、切れ目のない支援を目指してまいります。

開設当初は不慣れな点もあるかと存じますが、ご利用者様、ご家族、地域の皆様、そして法人職員の皆様とともに学び、一歩ずつ信頼される訪問看護ステーションへ成長していきたいと考えています。

医療法人重仁会の一員として、地域に必要とされる事業所を目指し、職員一同、誠実に歩んでまいります。今後ともご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



訪問看護ステーション シエル 管理者 菊地 弥栄子

〒063-0826
住所 札幌市西区発寒6条14丁目13番28号 グリニッジタウン西札幌303号
連絡先 011-777-5000
営業時間 月曜日～金曜日 9:00～18:00 緊急時24時間対応

- 訪問看護ステーション「シエル」開設
- 訪問看護ステーション「エミーデ」
- 外来待合室『水槽の仲間たち』
- 部署紹介 「第4病棟」
- 2つの薬が1つに～糖尿病配合剤～
- 理念及び基本方針



訪問看護ステーション「エミーデ」

訪問看護ステーション エミーデは「一人でも多くのひとを、笑顔に。」をスローガンに、地域の皆様が住み慣れた場所で自分らしく暮らし続けられるよう支援しています。2026年2月より新所長武田が就任し、新体制のもと精神科訪問看護のさらなる充実に取り組んでいます。

こころの不調や精神疾患により、外出や服薬管理、生活リズムを整えることが難しくなった方のもとへ、経験豊富な看護師が定期的にご自宅へ伺います。体調やお薬の確認、生活上の困りごとの相談、丁寧な傾聴を通して、再発の小さなサインにいち早く気づき、安心して暮らすための土台を支えます。ご本人だけでなく、支えるご家族の不安や負担にも寄り添い、一緒に解決の方法を考えていきます。

当ステーションの強みは、精神科病院と密に連携し、医師・外来・入院病棟・デイケアと日々情報を共有し、介入について協議を行っていることです。入退院時も切れ目のない一貫した支援を提供し、病状変化にも主治医と連携して迅速に対応、再入院の予防と穏やかな地域生活の維持につなげます。

笑顔あふれる暮らしを地域全体で支えていきますので、どうぞひとりで抱え込まず、お気軽に相談窓口までご相談ください。

訪問看護ステーション エミーデ 管理者 武田次郎



医療法人 重仁会

訪問看護ステーション エミーデ

お問い合わせ

TEL.011-398-6966

平日9:00～16:30(土日・祝祭日・年末年始除く)

外来待合室『水槽の仲間たち』



ナンヨウハギ
体長：30cm

説明：映画「ファインディング・ニモ」のドリー役



カクレマノミ
体長：8cm

説明：映画「ファインディング・ニモ」の主人公



ヤマブキズメダイ
体長：10cm

説明：成魚になるにつれてまんまるな体型になる



ヒフキアイゴ
体長：20cm

説明：夜になると茶褐色のまだら模様になる

部署紹介

第4病棟

朝夕の風に少しずつ秋の気配が感じられる9月となりました。季節の変わり目は、体調や心の変化が現れやすい時期です。当病棟は認知症の治療病棟ですが、医師・看護師・ケアワーカー・OTなど多職種が連携し、チーム医療を提供しています。認知症の進行による不安や混乱を和らげるには五感に優しい環境づくりが欠かせません。私たちは「チームでつなぐその人らしさへのアプローチ」を大事にしており、それぞれの専門の目が集まるからこそ、「安心の空間」を作ることができます。

先日開催した夏まつりでは、病棟スタッフ・OT・栄養士が協力し、チョコバナナを食べたり、ヨーヨー釣りをしました。患者様の笑顔があふれる時間をスタッフ一同も楽しませていただきました。

一部ですが、病棟の紹介をさせていただきました。



2つの薬が1つに～糖尿病配合剤～

精神科で処方される薬の中には血糖値が上がりやすくなる副作用もあり、糖尿病の予防や治療を行っています。飲む薬の数が多いと飲み忘れにつながることもありますので、今回は糖尿病治療薬の中でも配合剤について紹介したいと思います。

糖尿病治療ではインスリンの効き目をよくするものや余分な糖を尿に出すものなど様々な種類の薬があります。糖尿病の治療では効果が異なる薬を組み合わせることで飲むことがあるため、複数の薬を1錠にまとめる「配合剤」も発売されています。1つにまとめることで飲む薬の数を減らすことができ飲み忘れ防止にもなります。しかし細かい成分の調整は難しくなるなど注意点もあります。

代表的な組み合わせとして DPP-4阻害薬+SGLT2阻害薬、DPP-4阻害薬+ビグアナイド薬
飲みづらさや気になることがありましたら、医師や薬剤師にご相談ください。

糖尿病の配合剤とは？

複数の薬(DPP-4阻害薬とSGLT2阻害薬など)が、

DPP-4阻害薬

+

SGLT2阻害薬

1つに合わさったお薬です。



1日1回または
数回の服用で済む



飲み忘れの減少



治療の継続
しやすさ